

RY

開発調査（事前調査）における
社会・WID配慮団員のための
手引書

平成7年12月

国際協力事業団
企画部

JICA LIBRARY



J1131610(6)

企 画
J R
9 5

前編

1. 本手引書について	
1-1 本手引書の目的	-----I-1
1-2 本手引書の使い方	-----I-1
2. 社会・WID配慮を実施するには	
2-1 調査団長としての留意事項	-----I-2
2-2 JICA担当事業部の担当者としての留意事項	-----I-3

本編

1. 社会・WID配慮とは	-----II-1
2. 社会・WID配慮団員にもとめられていること	-----II-2
3. 社会・WID配慮団員の分担業務	-----II-3
3-1 国内準備作業	-----II-4
3-2 現地調査	-----II-12
3-3 国内整理作業	-----II-16
4. 分野別／国別資料	-----II-19

巻末資料1. 既存報告書分析

2. WIDに関する用語

3. S/W例



1131610〔6〕

まえがき

開発における女性の役割は近年ますます重要視され、我が国の開発協力においても女性への配慮及び女性の参加の推進が広く行われるようになってきています。当事業団においても分野別（WID）援助研究会の提言を受け、WID配慮の一層の強化に努めてきたところであり、その一環としてWID配慮の強化に関わる事業予算の拡充を図るとともに、WID配慮の手引書を始めとする種々のガイドライン等の整備を進めています。

本手引書は、企画部がコンサルタント及び関係事業部の協力を得て、開発調査における事前調査の実施にあたり、その調査に関わる調査団員などがWID配慮をどう行うべきかを事前調査の流れに沿い取りまとめたものです。WID配慮を実施するにあたっては、プロジェクトの計画段階から地域の男女の役割分担等を把握することが重要であり、本書は開発調査（事前調査）という特定の事業に絞り、WID配慮の手順を示した初めての試みです。

当事業団におけるWID配慮への取り組みは未だ初期段階であり、今後更に実績を積みつつ、その充実を図ることが重要です。本手引書も当事業団の経験と知見の蓄積を行いつつ、今後、必要に応じて適宜、改訂を行うことと致します。

平成7年12月

国際協力事業団

企画部長 小田野 展丈

1. 本手引書について

JICAにおいては、開発事業におけるWID配慮や社会配慮を促進することを目的として「WID配慮の手引書」や「開発調査事業における社会分析ガイドライン策定研究報告書」が作成されています。これらの報告書に対して、本手引書は、JICAが実施する援助事業の中でも特に開発調査の事前調査に焦点を絞り、より実務的な手順を示すことに重点が置かれています。

本手引書の名称を「社会・WID配慮」とした背景には、WID配慮を社会配慮の一部として位置付けたことがあります。上記の「開発調査事業における社会分析ガイドライン策定研究報告書」においてもWID配慮は社会配慮の一部として位置付けてられていますが、WID配慮に対する認識が高まるにつれて、社会配慮の中でも特にWID配慮に焦点をあてた手引書の必要性が高まってきました。このような状況に鑑み、本手引書は、社会配慮の中で特にWID配慮に焦点を置いた手引書として位置付けられます。

1-1 本手引書の目的／構成

本手引書は、開発調査の事前調査において、

- (1) 対象分野の社会・WID配慮調査を効率よく実施する
- (2) 本格調査における留意点を把握すること

を目的として作成されています。

本手引書は社会・WID配慮団員として参加する個別専門員、ジュニア専門員、コンサルタント、プロジェクト担当者等を主な対象者としています。よって、本編では、社会・WID配慮団員が、国内準備作業、現地調査および帰国後の国内整理作業において、社会・WID配慮調査を効率良く実施し、本格調査における留意点を把握する上での手引きとなることを目的とし、具体的な手順および留意点を指摘しています。

更に、社会・WID配慮調査を効率よく実施するためには、社会・WID配慮団員以外の団員、つまり団長を含めた他団員とJICAの担当事業部からの理解と協力が不可欠です。そこで、本手引書の前編では、開発調査の事前調査で社会・WID配慮がなされる場合に、団長とJICAの担当事業部が留意すべきことを挙げています。

1-2 本手引書の使い方

前編は、現地調査が実施される前に団長に配布されることが望まれます。団長および担当事業部は、現地調査出発前に前編の「2.社会・WID配慮を実施するには」を一読し、状況に応じて指摘されている留意点に配慮します。

本編は、社会・WID配慮団員を対象としています。社会・WID配慮団員は、現地調査前に「1.社会・WID配慮とは」と「2.社会・WID配慮団員に求められること」を一読し、WIDに関する基本的な認識と自分の役割を確認します。そして、国内準備作業、現地調査、および帰国後の国内整理作業において「3.

社会・WID配慮団員の業務分担」を参照して、その基本的な作業内容を確認します。なお、各対象国および各分野によって異なる状況や留意点の把握においては、「4.分野別／国別資料」を活用します。

2. 社会・WID 配慮を実施するには

社会・WID配慮のJICA開発事業への適用は、まだ新しい試みであり、本手引書が対象としている開発調査の事前調査においても、調査団やJICA担当事業部の理解と協力がなければ、社会・WID配慮調査を効率よく実施し、その成果を本格調査に生かすのは難しいと考えられます。

従って、以下、団長及びJICA担当事業部の担当者を対象として、社会・WID配慮を実施する際に留意して頂きたい事項を示してありますので、是非とも一読下さい。

2-1 調査団長としての留意事項

- 今回、事前調査の対象となるプロジェクトは、JICAにおいて社会・WID配慮が必要であると認識されているものです。
社会・WID配慮団員は、本格調査において実施されるべき社会・WID配慮の調査指針を示すことを目的としており、対象プロジェクトにおいて社会・WID配慮を実施する際の主眼点、プロジェクト受益者の特定、調査方法等を明らかに致します。
団長として、開発調査の事前調査で社会・WID配慮団員を配置して、対象プロジェクトに社会・WID配慮を行うことの主旨について十分な理解と協力を頂けることが期待されています。
- 団長として、他の団員に対して対象プロジェクトが「社会・WID配慮案件」であることを団内会議等の場を利用して説明し、社会・WID配慮調査に十分な理解と協力が得られるように配慮することも期待されています。

他団員との調整における留意点

1. 技術面を担当する調査団員の中にも、従来ある程度社会・WID配慮を実施してきた者がいます。その場合、何故あえて社会・WID配慮団員を入れるのかについて疑問を持たれる場合があります。
2. 社会・WID配慮団員は、技術面を担当する団員に対して専門分野に関する質問を行うことがあります。社会・WID配慮は、他団員の協力がなければ実施出来ないことを理解されていない場合には、社会・WID配慮団員が様々な質問をすることについて不快に思われる可能性があります。

- 団長は、事前調査全体の中で、特にS/W（案）、本格調査への留意事項（調査項目、調査方法、団員構成等）を検討する際に、社会・WID配慮事項が十分に反映されるように配慮することが期待されています。
- 開発調査の事前調査における社会・WID配慮団員の役割や分担業務等の詳細は、この後に続く本編で時系列的な作業の流れの中で簡潔に説明がなされています。対象プロジェクトの社会・WID配慮について十分な理解と協力を頂く為に、本編を是非とも一読されることを推奨します。

2-2 JICA担当事業部の担当者としての留意事項

- 対象プロジェクトの本格調査で社会・WID配慮が十分に考慮されるには、JICA担当事業部においてS/W（案）の原案が作成される際に、社会・WID配慮に関して記載すべき事項が明記されていることが必要となります。
従って、事前調査に参加する社会・WID配慮団員と打合せを行った上で、対象プロジェクトにおいて考慮されるべき社会・WID配慮とは何かについての検討が十分になされ、S/W（案）に反映されるように配慮される必要があります。
- 現地調査におけるプロジェクト対象地域の現地踏査は、対象プロジェクトにおいて社会・WID配慮がなされるべき地域住民を特定する等、地域社会を把握することにおいて重要な意味を持っています。

従って、社会・WID配慮団員が他団員と別行動で独自の現地踏査を実施する必要がある場合には、事前に社会・WID配慮団員と打合せを行った上、調査団全体の予算及びスケジュール等を考慮して、必要とされる車輛、通訳等の手配について十分な配慮がなされる必要があります。
- 現地調査に出発する前に持たれる団内会議等の場において、今回、調査対象となるプロジェクトが社会・WID配慮が必要な案件であることを団長と他団員に説明します。更に、社会・WID配慮団員に対象プロジェクトの社会・WID配慮のポイントについて説明をしてもらい、調査業務全般にわたって社会・WID配慮について、団長と他団員の十分な理解と協力を得られるように配慮することが必要とされています。
- 最後に、事前調査における社会・WID配慮団員の役割や分担業務等の詳細は、この後に続く本編で時系列的な作業の流れの中で簡潔に説明がなされていますので、対象プロジェクトの社会・WID配慮について十分な理解と協力を頂く為に、本編を是非とも一読されることを推奨します。

1. 社会・WID配慮とは

援助プロジェクトは、プロジェクトが実施される国や地域あるいは住民の経済・社会の発展のために実施されます。そのため、プロジェクトの成否は「インフラ整備率がどのくらい高くなったか」といったプロジェクト実施業績の面のみからでなく、その国や地域あるいは住民の所得水準や生活水準の向上、あるいは所得分配の改善等といった面からも問われる必要があります。

援助プロジェクトを持続的で効率的なものにするためには、住民の参画などにより、異なる階層やグループに対してプロジェクトの便益が公正にもたらされ、マイナスの影響が最小限になるように配慮されたかも考慮する必要があります。

このように、より効率的で持続的な援助プロジェクトを実施するためには、対象地域の状況を把握し、援助プロジェクトの活動・実施・評価段階でその社会状況に配慮する必要があります。従って、社会・WID配慮では、対象社会を把握する際に、男女のニーズや役割の違いにも着目して、更にきめこまかく対象社会の状況を把握して配慮することが重要となります。

社会・WID配慮をしなかった為に失敗したケース(農業灌漑プロジェクト)

ガンビアでは伝統的に男性が現金収入を得る為に、豆を栽培し、女性は家庭内消費を目的とした稲の栽培を行っていた。ここで、米の生産性を高めることを目的とした灌漑プロジェクトが導入された。しかし、このプロジェクトは男性が稲作を行い、それに必要な資源の運営・監理も男性が行っていると想定したものであった。更にプロジェクトは女性が持っていた既存の土地所有権に気づかず、男性の為に新しい土地所有権をつくることを支援した。結果として、土地を奪われた女性の労働意欲が低下し、プロジェクト対象地域で米の生産高が低くなった。

Tim Allen and Alan Tomas "Poverty and Development 1990s" Oxford University Press, 1992 ,pp306-7

2. 社会・WID配慮団員に求められていること

社会・WID配慮団員に求められていることは、開発調査において何故社会・WID配慮が必要であるかを明らかにした上で、対象地域や分野でどのような点に関して社会・WID配慮が必要か、誰が社会・WID配慮をすべきか、どのような方法ですべきかを把握し、本格調査の業務指示書にその意図を反映させることにあります。

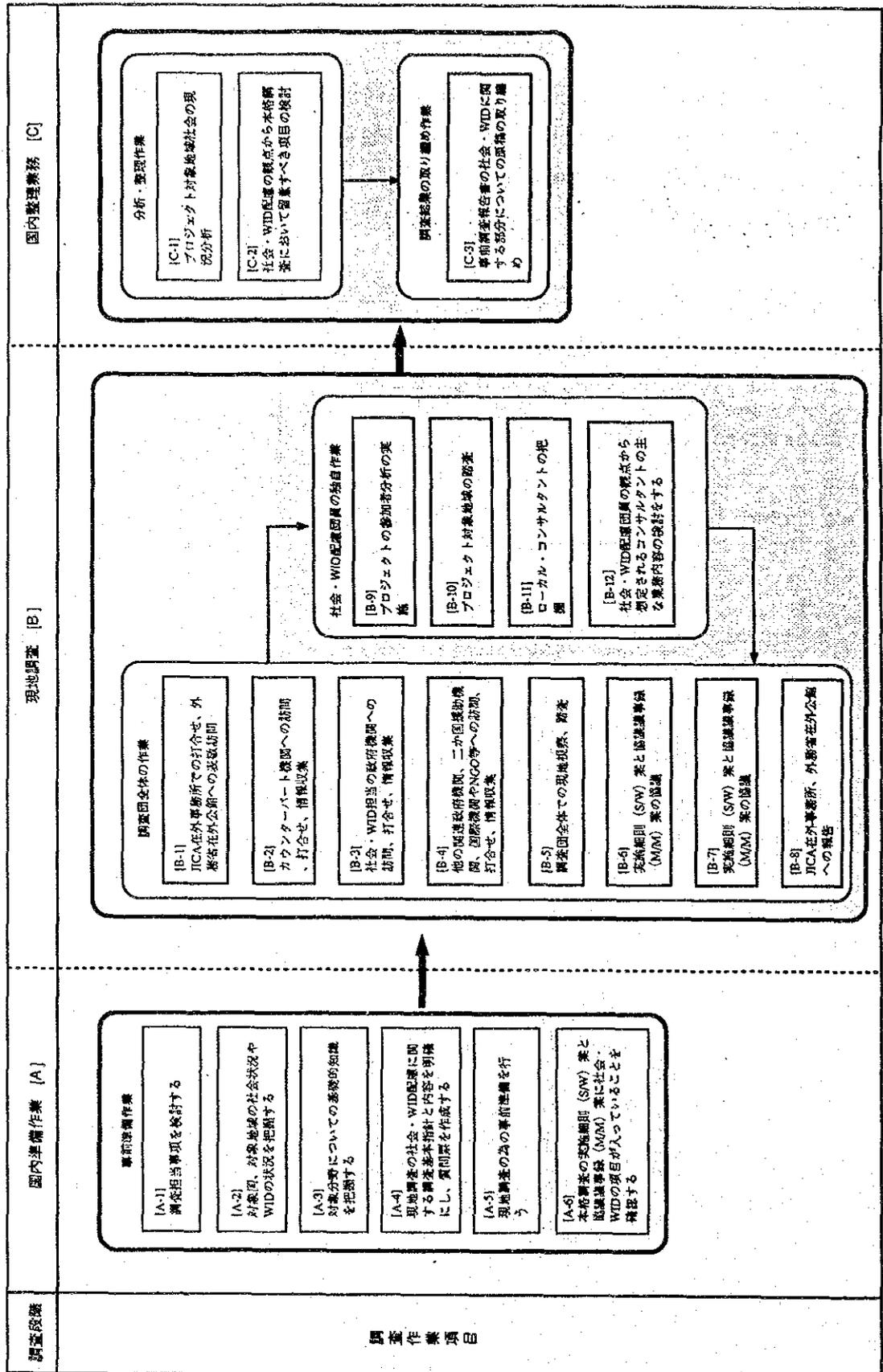
「まず、プロジェクト*ありき」

事前調査で派遣される社会・WID配慮団員は、対象地域社会全体の状況をまんべんなく把握するものではありません。「プロジェクトを効率よく、かつ持続的に実施する」為に、知ることが何かを考える必要があります。

*ここで言う「プロジェクト」とは、M/Pの中で形成されるプロジェクト群およびF/Sの対象プロジェクトを示します。

3. 社会・WID配慮団員の分担業務

社会・WID配慮団員調査業務の作業手順



3-1 国内準備作業

国内準備作業では、自分の業務を確認する為に、

- (1) 自己の調査担当事項の検討をする

現地調査を効率よく実施する為に

- (2) 対象地域や分野について理解する
- (3) 現地調査の内容を明確にし、調査手順を整える
- (4) S/W案に社会・WID配慮の項目を盛り込むように努力する。[※]
- (5) 社会・WID配慮に関する他団員の理解を図る

(1) 自分の業務を確認する

A-1

調査担当事項を検討する。

- 自分の業務の検討においては、
 1. 調査の全体目的と内容の確認
 2. 調査担当事項の確認
 3. 対象プロジェクトの概要の把握を行う
- この時点で可能であれば、どのような視点から業務を実施するかを担当事業部と確認する。

(2) 対象地域や分野について理解する

(作業) 一つの例として、社会・WID情報シートを埋める。

社会・WID情報シートは、対象地域や分野の社会・WID的側面について理解する為に作成される。本シートのすべて項目を埋める必要はないが、必要な情報で事前に入手できないものは、現地で入手する。

[※] S/Wは、本格調査の業務指示書の作成の基盤となるため、そこに記載された内容は、本格調査における社会・WID調査の実施に大きく関わる。

A-2

対象国、地域の社会状況やWIDの状況を把握する。

 記載項目について

社会・WID情報シートの例は次ページに示したが、必ずしも例に示された通りである必要はない（通常の準備段階では、この情報シートの例ほどの情報が得られないのが普通）。最終的にどのような社会指標・経済指標が必要になるかを考慮する。

 留意点

対象社会を把握する際には、経済水準、民族、宗教などを同じとする集団においても男女双方の情報を集める必要があることに留意する。

 参考情報源

「国別援助研究報告書」(JICA)
 「Human Development Report」国連開発計画 (UNDP)
 「Social Indicators of Development」世界銀行 (WB)
 「World Development Report」世界銀行 (WB)
 「海外経済協力便覧」海外経済協力基金 (OECF)
 「世界子供白書」国連児童基金 (UNICEF)

国別の状況については、第4章の「国別情報文献リスト」を参照のこと。

A-3

対象分野についての基礎的知識を把握する。

社会・WID配慮団員は、対象社会の状況のみを把握するのではなく、あくまでも「対象プロジェクト」における社会・WID配慮の必要性を把握する。情報をプロジェクトに反映させるためには、プロジェクトの調査の対象分野に関する基礎的な知識は不可欠となる。

 把握内容

1. 対象分野の現況
 - ・可能であれば近隣国との比較を含む
2. 他国援助機関および国際機関等の援助活動の状況
3. 対象分野における社会・WID配慮的側面の把握

 参考情報源

「開発途上国技術情報データシート」JICA
 「国別医療協力ファイル」JICA
 「プロジェクト方式技術協力活動事例シリーズ」JICA
 「派遣専門家／企画調査員報告書」JICA
 「関連調査報告書（開発調査、プロジェクト形成調査など）」JICA
 「開発途上国国別経済協力シリーズ」国際協力推進協会
 「我が国の政府開発援助・下巻（国別実績）」外務省

対象セクターの社会・WID的側面については、上記の報告書および第4章の「セクター別の文献リスト」も参考のこと。

社会・WID情報シート (国名: セクター:)

1. 社会・WID関連、対象分野の政策・ガイドライン	
(国家開発計画)	
(セクター別開発計画)	
(法制度・慣習法)	
(社会・WID担当政府機関)	
2. プロジェクト対象地域の状況	
3. プロジェクト対象セクターの状況	
4. 一般基礎データ (性別)	
社会指標 (例) a. 出生率 全 男 女 b. 乳児死亡率 全 男 女 c. 妊産婦死亡率 _____ d. 平均寿命 全 男 女 e. 初等教育就学率 Net 全 男 女 f. 非識字率 全 男 女 g. 社会サービスへのアクセス (例) 医療施設にアクセスがある世帯の割合 (例) 人口あたりの医者数 i. その他	経済指標 (例) a. GNP 一人あたりGNP US\$ b. GDP 一人あたりGDP US\$ c. 所得配分 d. 女性の労働率 % (全労働力に対する%) e. 失業率 f. その他
5. その他	
(当該分野で活動している他の援助機関/NGO)	
(宗教、民族、文化、政治的背景に関する特記事項)	

社会・WID情報シート記入例 (国名：エチオピア国 セクター：水資源開発)

<p>1. 社会・WID関連、対象分野の政策・ガイドライン</p> <p>・各省に女性担当部が置かれ、総理府にあたる女性担当部が各省との連携を図り、対象分野別にWID政策を進めている。</p> <p><天然資源開発環境保護省></p> <p>・WID部を設置。森林・環境保護・水・衛生分野における政策策定にジェンダーの視点を組み込んでいる。地方レベルでの職員研修に女性職員の参加を促進している。ローカル・レベルでも水委員会のメンバー5人のうち2人を女性とするガイドラインを作成している。</p> <p><農業省></p> <p>・農村女性開発事業部門の設置。1.農村女性の生活向上、2.農村女性による民生の向上、3.女性の農業労力による国家への貢献の向上を政策の柱としている。</p> <p>・家政普及員を活用して様々な活動を展開している。</p>																					
<p>2. プロジェクト対象地域の状況</p> <p>調査対象地域11都市は、地理、風土、帰港、標高、行政区分により大きく2つに分類された。</p> <table border="1"> <tr> <td> <p><第1グループ：高原地帯、Bahir DarにRegional OfficeがあるRegion-3等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・約1,400万人 ・アムハラ族が主。・コプト・キリスト教徒が主 ・ジェンダーによる労働形態や道具へのアクセスの差が存在する。 ・社会格差が存在する。 ・主に農牧畜の集積地。テフなどを栽培している。 ・社会基盤整備されているが、老朽化が進んでいる。 ・既存の自治組織の存在や伝統的女性組織が存在。 </td> <td> <p><第2グループ：AsaytaにRegional OfficeがあるRegion-2等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・約1万～2万人 ・多様な民族が居住。・イスラム文化の影響が強い ・ジェンダーによる労働形態の差が存在する。 ・商業活動が活発。 ・社会基盤はあまり整備されていない。特に居住は泥でできた簡易なものとなっている。 ・住民組織については不明。 </td> </tr> </table>		<p><第1グループ：高原地帯、Bahir DarにRegional OfficeがあるRegion-3等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・約1,400万人 ・アムハラ族が主。・コプト・キリスト教徒が主 ・ジェンダーによる労働形態や道具へのアクセスの差が存在する。 ・社会格差が存在する。 ・主に農牧畜の集積地。テフなどを栽培している。 ・社会基盤整備されているが、老朽化が進んでいる。 ・既存の自治組織の存在や伝統的女性組織が存在。 	<p><第2グループ：AsaytaにRegional OfficeがあるRegion-2等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・約1万～2万人 ・多様な民族が居住。・イスラム文化の影響が強い ・ジェンダーによる労働形態の差が存在する。 ・商業活動が活発。 ・社会基盤はあまり整備されていない。特に居住は泥でできた簡易なものとなっている。 ・住民組織については不明。 																		
<p><第1グループ：高原地帯、Bahir DarにRegional OfficeがあるRegion-3等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・約1,400万人 ・アムハラ族が主。・コプト・キリスト教徒が主 ・ジェンダーによる労働形態や道具へのアクセスの差が存在する。 ・社会格差が存在する。 ・主に農牧畜の集積地。テフなどを栽培している。 ・社会基盤整備されているが、老朽化が進んでいる。 ・既存の自治組織の存在や伝統的女性組織が存在。 	<p><第2グループ：AsaytaにRegional OfficeがあるRegion-2等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・約1万～2万人 ・多様な民族が居住。・イスラム文化の影響が強い ・ジェンダーによる労働形態の差が存在する。 ・商業活動が活発。 ・社会基盤はあまり整備されていない。特に居住は泥でできた簡易なものとなっている。 ・住民組織については不明。 																				
<p>3. プロジェクト対象セクターの状況</p> <p><住民意識></p> <ul style="list-style-type: none"> ・便所のない世帯が多い。排泄は空き地でなされ、水は敷地内にある浅い井戸から汲み上げている。 ・住民の衛生意識は低く、伝統的水源の汚染が広がっている。 ・水に由来する疾病としては、腸チフス、サルモネラ菌、寄生虫による胃腸障害がある。 <p><衛生教育> ・公共施設を利用して衛生教育を行っている。</p>																					
<p>4. 一般基礎データ (性別)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>社会指標 (例)</th> <th>経済指標 (例)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>a.出生率 全 - 男 - 女 -</td> <td>a.GNP 一人あたりGNP 120 US\$ (1991)</td> </tr> <tr> <td>b.乳児死亡率 全123 男 - 女 -</td> <td>b.GDP 一人あたりGDP 370 US\$ (1991)</td> </tr> <tr> <td>c.妊産婦死亡率 900</td> <td>c.所得配分</td> </tr> <tr> <td>d.有病率 全 - 男 - 女 -</td> <td>d.女性の労働率 41% (全労働力に対する%)</td> </tr> <tr> <td>e.平均寿命 全46.4 男 - 女48.1</td> <td>e.失業率</td> </tr> <tr> <td>f.初等教育就学率</td> <td>f.その他</td> </tr> <tr> <td>Net 全 - 男 - 女 24</td> <td>農業生産 GDPあたり47%</td> </tr> <tr> <td>g.非識字率 全 50 男 - 女 -</td> <td>食糧援助額 3.3million US\$</td> </tr> <tr> <td>h.初婚年齢 全 - 男 - 女 18.1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		社会指標 (例)	経済指標 (例)	a.出生率 全 - 男 - 女 -	a.GNP 一人あたりGNP 120 US\$ (1991)	b.乳児死亡率 全123 男 - 女 -	b.GDP 一人あたりGDP 370 US\$ (1991)	c.妊産婦死亡率 900	c.所得配分	d.有病率 全 - 男 - 女 -	d.女性の労働率 41% (全労働力に対する%)	e.平均寿命 全46.4 男 - 女48.1	e.失業率	f.初等教育就学率	f.その他	Net 全 - 男 - 女 24	農業生産 GDPあたり47%	g.非識字率 全 50 男 - 女 -	食糧援助額 3.3million US\$	h.初婚年齢 全 - 男 - 女 18.1	
社会指標 (例)	経済指標 (例)																				
a.出生率 全 - 男 - 女 -	a.GNP 一人あたりGNP 120 US\$ (1991)																				
b.乳児死亡率 全123 男 - 女 -	b.GDP 一人あたりGDP 370 US\$ (1991)																				
c.妊産婦死亡率 900	c.所得配分																				
d.有病率 全 - 男 - 女 -	d.女性の労働率 41% (全労働力に対する%)																				
e.平均寿命 全46.4 男 - 女48.1	e.失業率																				
f.初等教育就学率	f.その他																				
Net 全 - 男 - 女 24	農業生産 GDPあたり47%																				
g.非識字率 全 50 男 - 女 -	食糧援助額 3.3million US\$																				
h.初婚年齢 全 - 男 - 女 18.1																					
<p>5. その他</p> <p><当該分野で活動している他の援助機関> UNICEFと上下水道局と保健省：農村において女性を軸とした民生向上を図っている。具体的には、衛生環境・保健教育の実施。栄養、母子保健、家政技術の向上、現金収入の向上、リーダーシップ研修の実施などが挙げられる。</p>																					

*本表を含めた以下3表は、巻末資料1に示した報告書をもとに作成された。

社会・WID情報シート (国名：マラウイ共和国 セクター：持続的資源管理)

<p>1. 社会・WID関連、対象分野の政策・ガイドライン</p> <p><セクター別開発計画> マラウイ政府の開発政策 (Statement of Development Policies 1987-96) 2章「国立公園、野性生物および観光」において国立公園、野性生物についての政策と戦略を示した。これをもとに、1983年に「国立公園および野性生物管理のための一般的マスタープラン」と「各地域マスタープラン」が作成され、現在コタコタはこれに基づいて管理されている。1992年に制定されるNational Parks and Wildlife Actでは、「住民に恵みをもたらす持続的利用を支援するために野生動植物を保全する」など住民に対する言及がある。森林の所有形態によって住民の森林資源利用が制約を受けている。 <慣習法>特にプロジェクト対象地域には、チーフ制度が残っている。 <社会・WID担当政府機関> 1984年に「女性の開発参加の為の国家委員会」の7分科会の一つに農業・天然資源委員会が設けられている。1994年には「マラウイ女性の為の行動計画と政策」が策定され行動原則が示されている。国立公園・野生動物局は、ジェンダーに関する意識が高く、具体的なプログラムへの女性の参加促進に積極的に取り組む姿勢がある。</p>															
<p>2. プロジェクト対象地域/周辺地域の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農家戸数は39,424戸、推定30万人、人口は急激に増加している。このうち食糧が十分確保できていない世帯は全体の33%となっている。 ・90%以上の燃料が森林から供給されている。 ・チェワ族、ヤオ族、トンガ、ンゴニ族が居住している。 ・過去の保護区内違法検挙物データによれば、全検挙物者の約7割が周辺地域の住民である。その中でも、慣習共有地の資源を利用できない伝統行政区の住民の割合が高い。 															
<p>3. プロジェクト対象セクターの状況</p> <p><プロジェクト目標と住民の関わり：環境保全、動物保護区の管理上の障害> 農地拡大を目的とした侵入、野性動物の密漁、薪炭材等林産物の不法採取が実施されている。この他、野生動物の農地および家畜への危害が問題とされている</p>															
<p>4. 一般基礎データ (性別)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>社会指標 (例)</th> <th>経済指標 (例)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>a.出生率 全 - 男 - 女 -</td> <td>a.GNP 一人あたりGNP 230 US\$</td> </tr> <tr> <td>b.平均寿命 全44.6 男 - 女 -</td> <td>b.所得配分</td> </tr> <tr> <td>c.初等教育就学率 (1990) Net 全 50 男 - 女 -</td> <td>c.女性の労働率 51% (全労働力に対する%)</td> </tr> <tr> <td>d.非識字率 全45.0 男 - 女 -</td> <td>d.失業率</td> </tr> <tr> <td>e.人口増加率 3.3%</td> <td>e.その他</td> </tr> <tr> <td>f.その他 国民一人あたりおよそ1m³の薪炭材を消費。 人口：1990年に880万 (内モザンビークからの難民が100万人)</td> <td>経済は農業に基盤がある。主要作物はタバコ、紅茶、砂糖、とうもろこし、綿花などとなっている。</td> </tr> </tbody> </table>		社会指標 (例)	経済指標 (例)	a.出生率 全 - 男 - 女 -	a.GNP 一人あたりGNP 230 US\$	b.平均寿命 全44.6 男 - 女 -	b.所得配分	c.初等教育就学率 (1990) Net 全 50 男 - 女 -	c.女性の労働率 51% (全労働力に対する%)	d.非識字率 全45.0 男 - 女 -	d.失業率	e.人口増加率 3.3%	e.その他	f.その他 国民一人あたりおよそ1m ³ の薪炭材を消費。 人口：1990年に880万 (内モザンビークからの難民が100万人)	経済は農業に基盤がある。主要作物はタバコ、紅茶、砂糖、とうもろこし、綿花などとなっている。
社会指標 (例)	経済指標 (例)														
a.出生率 全 - 男 - 女 -	a.GNP 一人あたりGNP 230 US\$														
b.平均寿命 全44.6 男 - 女 -	b.所得配分														
c.初等教育就学率 (1990) Net 全 50 男 - 女 -	c.女性の労働率 51% (全労働力に対する%)														
d.非識字率 全45.0 男 - 女 -	d.失業率														
e.人口増加率 3.3%	e.その他														
f.その他 国民一人あたりおよそ1m ³ の薪炭材を消費。 人口：1990年に880万 (内モザンビークからの難民が100万人)	経済は農業に基盤がある。主要作物はタバコ、紅茶、砂糖、とうもろこし、綿花などとなっている。														
<p>5. その他</p> <p>(当該分野で活動している他の援助機関/NGO) GTZ：ニイカ国立公園で、地域住民を対象とした養蜂プロジェクトを実施。 WB：マラウイ湖国立公園整備計画を実施 ジンバブエ：キャンプファイアプロジェクト (宗教、民族、文化、政治的背景に関する特記事項) 保護区に対する住民感情はあまりよくない。 人口の大半は伝統的宗教、キリスト教徒が1/3、少数のイスラム教徒がいる。</p>															

社会・WID情報シート (国名：ジンバブエ国 セクター：農業開発計画)

<p>1. 社会・WID関連、対象分野の政策・ガイドライン</p> <p>(国家開発計画) 貧しい黒人のボトムアップに国家政策が移行しつつある。 (セクター別開発計画)</p> <p>(法制度・慣習法) 地方政府・農村・都市開発庁と対立する父系によるリーグシップや慣習法がある。</p>			
<p>2. プロジェクト対象地域の状況</p> <p>デベレ族が多く住んでいる。プロジェクト対象地域の住民は、比較的近年移住してきた人々である。人口増加率は3.18% (1982-92)。人口密度は、農業形態/農業土地システムにより異なる。</p> <p>女性を世帯主とする世帯が、全国平均に比べて多い。 伝統的に薪取りの役割を女性が担っている。 クドゥダム灌漑事業が実施された場合の受益者は、Communal AreaやResettlement Areaの農家であり、主要灌漑道路が完成しただけではその水を有効に利用する資金や組織力がない人々である。</p>			
<p>3. プロジェクト対象セクターの状況</p> <p>白人の大規模商業農家と黒人の共同体農家の2つに大分される。 通常、農業開発プログラムは世帯別の参加となっており、男性が世帯主の世帯が優遇される傾向がある。 土地所有形態は (1) Communal Area (2) Resettlement Area (3) Large-Scale Commercial Land (4) Small Scale Commercial landの4つに分けられる。</p>			
<p>4. 一般基礎データ (性別)</p> <table border="1"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>社会指標 (例)</p> <p>a. 出生率 全 男 女</p> <p>b. 平均寿命 全 56.1 男 女</p> <p>c. 初等教育就学率</p> <p> Net 全 男 女</p> <p>d. 識字率 全 69 男 76 女 61</p> <p>f. 社会サービスへのアクセス</p> <p> 灌漑設備</p> <p>i. その他</p> <p> 人口10,401,767人、 1982年より人口増加率は、年率3.13%</p> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>経済指標 (例)</p> <p>a. GDP</p> <p> 一人あたりGDP 2,160 US\$</p> <p>b. 女性の労働率 48% (1990-92)</p> <p>e. その他</p> <p> 国民総生産額に占める農業の割合 約14%</p> <p> 農業セクターへの雇用 全雇用人口の70%</p> <p> 輸出総額に占める農業の割合 25%</p> </td> </tr> </table>		<p>社会指標 (例)</p> <p>a. 出生率 全 男 女</p> <p>b. 平均寿命 全 56.1 男 女</p> <p>c. 初等教育就学率</p> <p> Net 全 男 女</p> <p>d. 識字率 全 69 男 76 女 61</p> <p>f. 社会サービスへのアクセス</p> <p> 灌漑設備</p> <p>i. その他</p> <p> 人口10,401,767人、 1982年より人口増加率は、年率3.13%</p>	<p>経済指標 (例)</p> <p>a. GDP</p> <p> 一人あたりGDP 2,160 US\$</p> <p>b. 女性の労働率 48% (1990-92)</p> <p>e. その他</p> <p> 国民総生産額に占める農業の割合 約14%</p> <p> 農業セクターへの雇用 全雇用人口の70%</p> <p> 輸出総額に占める農業の割合 25%</p>
<p>社会指標 (例)</p> <p>a. 出生率 全 男 女</p> <p>b. 平均寿命 全 56.1 男 女</p> <p>c. 初等教育就学率</p> <p> Net 全 男 女</p> <p>d. 識字率 全 69 男 76 女 61</p> <p>f. 社会サービスへのアクセス</p> <p> 灌漑設備</p> <p>i. その他</p> <p> 人口10,401,767人、 1982年より人口増加率は、年率3.13%</p>	<p>経済指標 (例)</p> <p>a. GDP</p> <p> 一人あたりGDP 2,160 US\$</p> <p>b. 女性の労働率 48% (1990-92)</p> <p>e. その他</p> <p> 国民総生産額に占める農業の割合 約14%</p> <p> 農業セクターへの雇用 全雇用人口の70%</p> <p> 輸出総額に占める農業の割合 25%</p>		
<p>5. その他</p> <p>(当該分野で活動している他の援助機関)</p> <p>(宗教、民族、文化、政治的背景に関する特記事項) 黒人は、ショナ族とデベレ族から構成されている。構成比はショナ族4対デベレ族1である。 白人人口は独立時の1980年には20万人いたが、1992年には約10万人 (全人口の0.96%) となっている。</p>			

(3) 現地調査の内容を明確にし、調査手順を整える

A-4 現地調査の社会・WID配慮に関する調査基本方針と内容を明確にし、質問票を作成する。

- 検討する際の留意点
ここでは、今回の現地調査と本格調査で調べる内容や調査の深度の区分けを行い、それを明確にする。現地調査では、詳細調査を実施するのではなく、対象社会の概要を把握し、本格調査における調査の重点項目を見極める。
- 何を検討するのか
 - ・調査方針
想定される配慮すべき社会的・WID的側面を把握し、何の為に社会・WID関連の調査を実施するかを明確にする。
 - ・調査項目の想定
 - ・現地再委託調査の必要性和委託内容の検討
 - ・ローカル・コンサルタント（現地人、外国人を含む）あるいは近隣諸国のコンサルタントの活用の有無と委託内容の検討
- 質問を作成する意図
 - ・質問票を作成することにより、自分の調査内容を明確にする。
 - ・更に、団内会議等で質問票を他団員に配布し、団内のコンセンサスを得る。
 - ・時間があれば、事前に現地に送付することが考えらる。

ローカル・コンサルタントとは

ローカル・コンサルタントとは、プロジェクト対象国に在住もしくは拠点があり、プロジェクト対象国の言語、社会、民族、文化などに精通している個人（大学教授等）や組織（民間企業等）を意味する。

A-5 現地調査の為の事前準備を行う。

- スケジュールの確認と現地踏査の実施概要の把握
 - スケジュールの確認
 - ・現地調査で得るべき情報を得られるかを念頭において、訪問機関を検討する。
 - 現地踏査の実施概要の把握と必要事項の確認
 - ・現地踏査地域の特徴の把握
 - ・調査方法と内容のメドをつける
 - ・車輛と通訳などの必要性の有無を検討する

訪問したい機関や組織をリスト・アップしてJICA事業部の担当者を通じて事務所に面会の依頼をする。

同分野で活躍している他援助国機関、ローカル・コンサルタント
社会・女性関係の省庁など

社会・WIDに関する政策、分野別方針などに関する資料を現地事務所に依頼して事前に取り揃えてもらう。

日程上、女性関連機関の訪問よりも現地調査の踏査が重要であると判断した場合には、現地事務所に対し取りそろえるべき資料を明確に示し、事前に用意してもらう。

ローカル・コンサルタント／近隣諸国のコンサルタントに関する情報を収集する。

ローカル・コンサルタントに関する情報源

(1) 対象国で活動している日本のコンサルタント企業／組織

(2) 対象国にいる他の援助機関

(3) カウンタパート機関

(4) 現地政府の社会・WID担当機関

(5) 大学、研究所等の機関

(6) JICA在外事務所

この段階でローカル・コンサルタントを活用するかどうかの検討をする。

(1) については国内で情報を集め、(2)～(6)についてはできる範囲内でJICA在外事務所に訪問予定の確認と同時に現地コンサルに関する情報提供を要請する。

(4) S/W案に社会・WID配慮の項目を盛り込むよう努める

A-6

本格調査の実施細則 (S/W) 案と協議議事録 (MM)
に社会・WID配慮の項目が入るよう努める

S/W案は、実質的に調査前の対処方針会議を通じて作成され、締結時にそれを大幅に変更するには、JICA本部または外務省との再調整の必要性から時間的・労力的に困難である。そのため、対処方針会議の段階でJICA担当事業部の担当者として十分話し合い、本格調査において社会・WID配慮が必要と認められる場合には、S/W案に社会・WID配慮の項目が入るように努めることが重要である。

開発調査はプロジェクトサイクルの一番初期である計画段階に相当するものが中心であり、その初期段階から社会・WID配慮を施すことは後にプロジェクトを実施する上でより住民に裨益するものとなりうる。

そこで、事前調査におけるS/Wは、本格調査の調査範囲、内容等を定めるものであり、この中において社会・WID配慮が必要であると思われるにもかかわらず盛り込まれなかった場合、それは開発調査の本質である途上国の開発計画の策定、ひいては住民への裨益ということに少なからず悪影響を及ぼすものであり、場合によっては案件の中止ということに追い込まれかねないものである。

S/W案への記載

なぜプロジェクトに社会・WID配慮が必要であるのかを明確にした上で、「住民参加」「WID」「女性の参加」などのキーワードと思われる言葉をS/W案に入れるよう交渉する。

どのようにすればS/W案[※]に入れられるか

JICAの担当事業部の担当者及び他団員と話し合いを行い、その必要性を説く。

現地調査に行く前の対処方針会議において、その必要性を確認する。

(5) 社会・WID配慮に関する他団員の理解を図る

出発前の国内会議において、他の団員への協力を得るため、WID配慮が重要であることを十分に理解してもらうよう努める。

プロジェクトを中心に考えた場合、社会・WID配慮団員は他団員の専門的知識を必要とする場合がある。事前に社会・WID配慮団員について他団員の理解を得ることは、団員とのコミュニケーションを円滑にする上で重要と考えられる。

A-6の項で述べた通り、社会・WID配慮に関する項目について他団員への説明を行い、WID配慮が重要であることを十分に理解してもらうよう努める。

3-2 現地調査

調査目的

現地調査では、本格調査で行う社会・WID配慮の方法、時期、対象を明らかにする為に以下のことをする。

- (1) 政府機関／他の援助機関への訪問
- (2) プロジェクト対象地域の踏査
- (3) ローカル・コンサルタントの把握

[※] 資料編に参考としてS/W例を添付した。

社会・WID配慮団員にとっては、(1) 政府機関／他の援助機関への訪問と同様に(2)のプロジェクト対象地域の踏査も重要となる。また、本格調査におけるローカル・コンサルタントの活用が必要となる場合があり、その場合には事前調査段階でローカル・コンサルタントの把握が重要となる。

調査実施方法

上記の通り、社会・WID配慮団員にとっては現地踏査が重要であり、場合によっては他の団員とは別に独自に現地踏査をすることがある。以下、各項目について調査団全体として行われると想定されるものについては(全)、社会・WID配慮団員が単独で行われるものについては(独)と記載した。

(1) 政府機関／他の援助機関の訪問 (全)

B-1 JICA事務所での打ち合せ、外務省在外公館への表敬訪問

B-2 カウンターパート機関への訪問、打ち合せ、情報収集

B-3 社会・WID担当の政府機関への訪問、打ち合せ、情報収集

留意点

・プロジェクトの種類によっては、団員全員が訪問する場合と社会・WID配慮団員のみが訪問する場合がある。

・社会・WID関連の政策・分野別の方針に関する書類を事前に入手できた場合には、それを一読し、必要に応じて現地踏査を優先することも考えられる。

B-4 他の関連政府機関、二か国援助機関や国際機関、NGO等への訪問、打ち合せ、情報収集

国内準備作業で作成した「社会・WID情報シート」へ情報を追加する。

その他、対象地域、セクター、社会・WID関連情報を収集。

必要であれば、当該分野や地域で活躍しているローカル・コンサルタントに関する情報を収集する。

B-5	調査団全体での現地視察、踏査
-----	----------------

B-6	実施細則 (S/W) 案と協議議事録 (MM) の協議
-----	-----------------------------

B-7	実施細則 (S/W) 案と協議議事録 (MM) の署名、交換
-----	--------------------------------

B-8	JICA在外事務所、外務省在外公館への報告
-----	-----------------------

(2) プロジェクト対象地域の踏査 (独)

B-9	プロジェクトの参加者分析の実施
-----	-----------------

- 対象プロジェクトの主要関係者を可能な限り把握する。

B-10	プロジェクト対象地域の踏査
------	---------------

- プロジェクト対象地域の選定

- 事前調査において、プロジェクト対象地域でサンプリング方式の社会・WID配慮調査を実施する場合には、その地域の特性等を把握する必要がある。

- また、本格調査時にプロジェクト対象地域でサンプリング方式の社会・WID配慮調査をした方がよいと考えられる場合には、事前調査時にサンプル地を選定し、その地域特性等を把握する必要がある。

- 対象地域で何をみるのか

- 1～2週間の調査では、対象地域の状況を全て把握するのは不可能と考えられる。ここでは、本格調査においてより詳細に調査を必要とすることは何かを次の観点から見極める。

どのように調査項目をたてるのか

- プロジェクトの受益者、影響を受ける住民を特定する
- プロジェクトによる便益を最大にし、マイナスの影響を最小限にする
 - ・プロジェクトの効果が公正に分配されるようにする
 - ・プロジェクトの持続可能性を向上する。
 - ・住民参加の可能性と方法について検討する
 - ・資源の利用あるいは生産活動のために、地元地域資源の権利関係を確
認し、資源利用の社会制度と組織を活用する
 - ・地域住民の価値観、慣習、信条、ニーズ等について考慮する。

**(3) ローカル・コンサルタントの把握 (本格調査でローカル・コンサル
タントへの再委託が必要と思われる場合のみの項目)**

B-11 ローカルコンサルタントの把握

何を把握するのか

- ローカル・コンサルタントの
 - 連絡先 (住所、TEL、FAX)
 - 組織構成 (専門家数、専門分野など、可能であれば職員のCV)
 - 最近の業務経験や実績 (可能であれば国際機関における業務実
績を入手する)
 - コンサルタント料 (例えば個人コンサルタントの場合、
US\$—/月等)

- 可能であれば、数社のコンサルタントと面会する。

面会することによって、対象分野における社会・WIDの情報を得ると同
時に、コンサルタントの能力を判断することが可能となる。

例えば、当該コンサルタントが今まで携わってきた類似プロジェクト
の報告書や説明を求めることにより、当該コンサルタントの報告書作成
能力、調査の企画、実施、管理能力に関する情報が得られ、客観的に当
該コンサルタントの能力を確認することが可能となる。

何の為に情報を収集するのか

- これらの情報は、本格調査に参加を希望するコンサルタントが技術プ
ロポーザルの要員計画で社会・WID配慮を検討する上で、重要な情報とな
るので、可能な限り多くの情報を入手することが望まれる。

B-12 社会・WID配慮団員の観点から想定されるコンサル
タントの主な業務内容の検討をする。

3-3 国内整理作業

C-1 プロジェクト対象地域社会の現況分析

- 本格調査で実施されるべき社会・WID配慮の指針を示す為の情報を得ることを目的とした現況分析が望まれる。プロジェクト対象地域社会の現況分析については、「巻末資料1」に幾つかの報告書の例を添付した。

C-2 社会・WID配慮の観点から本格調査において留意すべき項目の検討及び助言

- 社会・WID配慮に関する調査項目と内容の検討及び助言
 - 本格調査で実施すべき社会・WID配慮に関する項目、調査をする際の留意点を書き出す。
 - 調査項目は対象社会の状況や分野に応じて考慮される。そのため、第4章の「WID分野別リスト1（分野別）」および「WID分野別リスト2（WID一般、関連統計）」を参考にして、臨機応変に対処することが肝要となる。調査項目の内容は上記の資料を参考にするが、調査項目の深度については「巻末資料1」を参照のこと。
 - 本格調査開始前までに、調査できなかったことで重要と認識された事項を書きだす。
- 社会・WID配慮に関する調査手法の検討及び助言
 - 調査手法も調査項目と同様に、対象社会の状況や分野に応じて考慮される。そのため、第4章の「WID分野別リスト1（分野別）」および「WID分野別リスト2（WID一般、関連統計）」を参考にして、臨機応変に対処することが肝要となる。
 - 現地再委託調査を実施する場合は、大枠のT/R（案）の作成
 - 報告書への反映
 - 上記の調査項目および調査手法を報告書に記載する際には、他団員の記述内容との兼ね合いを考慮し、内容の刷り合わせを行うことが重要となる。これにより、他団員の専門分野にも社会・WID配慮の側面を入れ込むことが可能となる。「巻末資料1」の「3.報告書目次」に示されている通り、社会・WID関連の調査記述は多項目にわたる。

□ 社会・WID配慮団員の資質、要件についての検討

□必要とされる専門分野と経験

社会・WID配慮調査現地再委託調査を企画、実施、監理していく能力

本格調査では、以下に示したように社会・WID配慮調査においてローカル・コンサルタントを活用することが考えらる。その際、社会・WID配慮団員は、プロジェクトに必要な調査内容をローカル・コンサルタントに伝え、そこからの確な情報を得てそれをまとめあげる能力が不可欠となる。

類似調査の経験

必要とされる経験としては、社会・ジェンダー分析やそれに類似した調査、例えば村落意識調査や社会経済調査等のように地域社会を把握する調査に携わってきた経験があることが望ましい。又、これらの分析や調査を住民参加型で実施した経験があれば更に望ましい。

専門分野

特に過去の学際的な専門的バックグラウンドは必要でなく、人類学、社会学、政治、経済、統計等、幅広い知識に長ける人が適任である。

□ ローカルコンサルタントの活用についての助言

現状においては、本格調査で社会・WID配慮の調査業務を実施するのに必要なプロジェクト対象国の言語、社会、民族、文化等に十分精通している日本人専門家は少なく、ローカル・コンサルタントの活用は必要不可欠であると考えらる。

ローカルコンサルタントの活用にあたって、以下にその基本的な留意点を示したので、対象プロジェクトに最適な活用方法を検討の上、事前調査報告書で提示する本格調査の留意事項の中に明記することが望まれる。

活用例

社会・WID配慮担当のJICA調査団員（再委託）として採用

現地におけるJICA調査団員として、団長や他団員と共同して社会・WID配慮の調査業務を実施する。この場合、社会・WID配慮の内容が報告書に十分反映されるように以下の点に配慮し、本格調査への留意事項の中で、必要と想定される社会・WID配慮団員の作業工程とM/M量を提言として明記する。

1. 引き継ぎ期間を2週間程度設け、団員の情報の共有化を図るため、以下の点につき引き継ぎを行う。

- ・ JICAにおける社会/WID配慮の取組について。
- ・ JICAの開発調査スキームについての大きな流れ、及び本格調査では、どのような成果が求められているか。
- ・ 本格調査に向けて、他団員に配布された資料・情報の配布、説明。
(日本で配布される資料が和文の場合、これらの資料の配布がされなかったり、説明されない場合がある。和文の資料についても、できる限り説明をする必要がある。)

2. 社会・WID配慮団員が少なくとも初期段階の報告書（P/R等）と最初の重要な報告書（IT/R等）の作成時に他団員と共同で作業を行うことができるように配慮する。

現地作業で報告書を作成する場合：

報告書作成時に社会・WID配慮団員の作業工程を割り当てる。

国内作業で報告書を作成する場合：

現地より社会・WID配慮団員の参加を求めて日本において共同で作業ができるようにする。

4. 分野／国別資料

ここでは、WID関連の文献が以下の3つに分類されています。

- 1.WID分野別文献リスト 1 (分野別)
- 2.WID分野別文献リスト 2 (WID一般・関連統計)
- 3.WID国別文献リスト

WID分野別文献リスト 1 (分野別)

「WID分野別文献リスト 1」には、各分野でのWID (ジェンダー) に関する基本的な情報を記載している文献があります。これらの文献は、各分野におけるWIDやジェンダーの基本的な問題を理解する為に活用します。

WID分野別文献リスト 2 (WID一般・関連統計)

「WID分野別文献リスト 2」には、日本におけるWIDを理解する為の文献、あるいは女性関係の統計が記載されています。日本におけるWIDへの取り組みやWIDに関する認識あるいは一般的な女性の概況を理解する上で活用します。

WID国別文献リスト

「WID国別文献リスト」には、途上国の女性について基本的な状況を提供している文献が記載されています。途上国の女性の概況を把握するために活用します。

文献リスト略語

ADB	Asian Development Bank (アジア開発銀行)
CIDA	Canadian International Development Agency (カナダ国際開発庁)
DAC	Development Assistance Committee (開発援助委員会)
DANIDA	Department of International Development Cooperation, Ministry of Foreign Affairs of Danish (デンマーク外務省、国際開発局)
ECFA	Engineering Consulting Firms Association (海外コンサルティング企業協会)
FAO	Food and Agriculture Organization (国連食糧農業機関)
ICIMD	International Center for Integrated Mountain Development (山間総合開発センター)
INSTRAW	International Research and Training Institute for the Advancement of Women (国際婦人調査訓練研修所)
JICA	Japan International Cooperation Agency (国際協力事業団)
NORAD	Norwegian Agency for Development Co-operation (ノールウェー開発庁)
SIDA	Swedish International Development Authority (スウェーデン国際開発庁)
UN	The United Nations (国際連合)
UNDP	United Nations Development Programme (国連開発計画)
UNICEF	United Nations Children's Fund (国連児童基金)
USAID	United States Agency for International Development (アメリカ合衆国国際開発庁)
WB	The World Bank (世界銀行)
WHO	World Health Organization (世界保健機関)

WID分野別文献リスト 1 (分野別)

分析手法	農林漁業			保健医療		教育訓練	生計向上	工業	環境	地域開発	エネルギー管理	ケース	その他	書名	著者名	年	所属場所
	農業	林業	漁業	水/衛生	人口家計												
	●			●		●							都市スラム	Danida's plan of action for development assistance to women sector plan	DANIDA	88	ECFA
						●								Determinants of women's education in the Middle East North Africa: Illustration from seven country	WB	89	JICA
						●								Educating girls and women : investing in development	WB	90	JICA
	●			●		●			●					Engendering Development in Asia and the Near East: A Source book The Gender Manual Series	USAID	92	ECFA
		●										●		Fisheries and Aquaculture: Operational Guidelines for the incorporation of gender in project/programme preparation and design	European Commission	94	ECFA
									●					Focus on the future: women and environment	DAC expert group on Women in Development	90	JICA
						●								Female schooling in East Asia : a review of growth, problems and possible determinants	Population and Human Resource Development	89	JICA
●						●			●		●	政策		Gender analysis in development cooperation: from the policy to participation	Management Systems International	92	JICA
														Gender and the growth and dynamics of micro enterprises	Development Alternatives Inc	90	ECFA
●	●					●						居住、運輸		Gender and Development: A practical guide	Routeledge	92	JICA ECFA
	●										●			Gender issues in agriculture and natural resource management	Robert R Nathan Associates Inc.	89	JICA ECFA
														Gender issues in basic education and vocational training	USAID	86	JICA
		●												Gender issues in fisheries and aquaculture	SIDA FAO	90	ECFA
													道路建設	Good aid for women? : a review of women's issues in three selected Norwegian bilateral development project	NORAD	89	JICA
						●								Guidelines for integrating women's concerns into development planning in Asia and the Pacific	UN	91	JICA
								●						Guidelines on the integration of women in UNIDO technical co-operation projects and in industrial studies programmes and research	UNIDO	86	JICA
														Improving women's education in Sub-Saharan Africa: a review of the literature	WB	89	JICA
						●								Improving Girl's school attendance and achievement in developing countries : a Guide to research tools	USAID	89	ECFA

分析手法	農林漁業				保健医療			教育訓練	生計向上	工業	環境	地域開発	エネルギー管理	ケース	その他	書名	著者名	年	所蔵場所
	農業	林業	漁業	保健	水/衛生	人口	疾病												
	●															Looking at gender and forestry: operational issues for project planners, implementors and administrators.	Finland, Ministry of Foreign	93	JICA ECFA
				●												Making the case for the gender variable: women and the wealth and well-being of nations	USAID	89	JICA
													●			Perspectives on the role of women in mountain development	ICIMD	90	JICA
																Population control and women's health: balancing the scales	International women's health condition	89	JICA
										●						Reference file on the consideration of women in project design, management and evaluation	UNIDO	91	JICA
		●														Restoring the balance: women and forest resources	FAO	91	JICA
		●							●							Revolving loan funds and credit programmes for fishing communities Management Guideline	FAO	92	ECFA
									●							Seminar report on the economic advancement of rural women in San Jose, Costa Rica, 17-21 June 1991	IFAD	91	JICA
																Strategies and innovations in nonformal education for women	Asian South Pacific Bureau of Adult Education	89	JICA
	●															The FAO gender analysis training programme for professional staff	FAO	92	JICA
	●	●							●							The integration of women in development: why, when and how to incorporate gender into Lomé IV projects and programmes: manual	Commission of the European Communities	91	JICA ECFA
			●													The integration of women in fisheries industrial system	UNIDO	87	JICA
																Thematic evaluation on the integration of women in rural development: evaluation of nice project financed by the European Development Fund in Botswana, Burkina Faso, Cameroon, Kenya Niger, Swaziland, Togo and Zambia	Commission of the European Communities	91	JICA
		●									●					Women and environment in the third world: alliance for the future	Earthscan	88	JICA
											●					Women and environment	Zed	91	JICA
											●					Women and the environment kid	CIDA	86	ECFA
																Women and health	Zed	91	JICA

分析手法	農林漁業		保健医療		教育訓練	生計向上	工業	環境	地域開発	エネルギー管理	ケース	その他	書名	出版者	年	所蔵場所
	農業	林業	漁業	保健												
												エイズ シエルター	Women and HIV/AIDS Women and shelter	Pandora JUNIC	93 87	JICA JICA
						●							Women and small business: a collection of IWTC newsletters dealing with women's involvement in business and finance.	International Women's Tribune Center	85	JICA
													Women and the International Drinking Water Supply and Sanitation Decade: Submitted to the world conference to review and appraise the achievements of the United Nations Decade for Women	INSTRAW	85	JICA
		●									●		Women and management of energy, forests and other resources	ICIMD	90	JICA
													Woman and water: a collection of IWTC newsletters on issues, activities and resources in the area of women, water and sanitation needs.	International Women's Tribune Center	90	JICA
											●		Women entrepreneurs: development prospects for women entrepreneurs in small and micro scale industry	Netherlands. Ministry of Foreign Affairs	88	JICA
	●												Women in agriculture development FAO's Plan of Action	FAO	90	ECFA
											●		Women in aquaculture: a Proceedings of the ADPC/NORAD workshop on women in aquaculture, Rome, FAO 13-16 April 1987	ADPC/NORAD Workshop on Women in Development	87	JICA
													Women in community forestry: a field guide for project design and implementation	FAO	89	JICA
												観光、移民、他国籍企業	Women in development	ISIS	83	JICA
													Women in development: A.I.D.'s experience Vol1	USAID	89	JICA
													Women in development: A.I.D.'s experience Vol2	USAID	89	JICA
												居住 運輸	Women in development: A sectoral perspectives	CIDA	86	JICA ECFA
													Women in development: Water supply and sanitation sector	ADB	87	ECFA
													Women in fishing communities Guidelines	FAO	88	ECFA
													Women, Water supply and Sanitation	FAO	-	ECFA

分析手法	農林漁業		保健医療		教育訓練	生計向上	工業	環境	地域開発	エネルギー	ケース	その他	書名	出版者	年	所収場所
	農業	林業	漁業	保健												
													Women poverty and the environment: example of successful experiences in soil, water and forest conservation	Asian and Pacific Development Center	91	JICA
													Women, water and sanitation	WHO	85	JICA
													Women's education in developing countries: barriers, benefits and policy	King Elizabeth M.	91	JICA
												難民	Working with refugee women: a practical guide	International NGO Working Group	89	JICA
和文献																
●	●				●				●				開発プロジェクトにおけるジェンダー分析 分析手法の検討とタイにおけるケース・スタディー	外務省	93	ECFA
													開発途上国の家族計画事業とジェンダー インドネシア、ケニア、戦後の日本の家族計画プログラムを事例として	外務省	94	ECFA
													社会林業におけるジェンダーの視点 調査研究報告書	JICA	94	JICA ECFA
●													社会林業におけるジェンダーの視点 事例集	JICA	94	JICA ECFA

WID分野別文献リスト 2 (WID一般・関連統計)

書名	出版者	作成年月日	所蔵場所
- WID一般			
WID配慮の手引書	国際協力事業団	93	JICA
WID配慮における社会/ジェンダー分析	国際協力事業団	93	JICA
「開発と女性」(WID)配慮のためのOECD指針	海外経済協力基金	91	JICA
Guideline for integrating WID into project design and evaluation	CIDA	89	JICA
Women and Development in the Third World	Routledge	91	JICA
- WID関連統計/その他			
世界の女性 1970-1990 その実態と統計	日本経済協会	92	JICA
Woman: a world survey	World Priorities	85	JICA
Directory of national machinery for the advancement of women 1991	UN	91	JICA
Tool for gender analysis	Clark University	-	BCFA
Patterns of first marriage : timing and prevalence	UN	90	JICA

WID 国別文献リスト

国名	書名	出版者	年	所蔵場所
Bangladesh バングラデシュ人民共和国	Islam and women's development programming in Bangladesh	CIDA	90	ECFA
Bolivia ボリビア共和国	農村生活改善のための女性の技術向上基礎調査報告書 (ボリヴィア・ホンデュラス)	JICA	92	JICA
Botswana ボツワナ共和国	Women and men in Botswana: facts and figures	Botswana, Central Statistics Office	91	JICA
	Country gender analysis Botswana	SIDA	92	ECFA
China 中華人民共和国	Women in China : China-facts & figures	New Star Publishers	90	JICA
Cambodia カンボジア	Analysis of the situation of women in Cambodia: research on women in Khmer society	UNICEF	92	JICA
	Cambodia: the situation of children and women	UNICEF	90	JICA
Egypt エジプト・アラブ共和国	Egyptian women: past present and future	Egypt. State Information Service	85	JICA
	エジプト社会における女性 文献サーベイ	アジア経済研究所	93	JICA
	Women in development : CIDA Egypt program	CIDA	92	JICA
	Women in Arab society : work patterns and gender relations in Egypt, Jordan and Sudan	Berg	90	JICA
Ethiopia エチオピア	Country gender analysis Ethiopia	SIDA	92	ECFA
Fiji フィジー共和国	Women in development : Fiji	ADB	88	JICA
Guinea-Bissau ギニアビサウ共和国	Country gender analysis Guinea-Bissau	SIDA	92	ECFA
Ghana ガーナ共和国	Women's roles in maintaining households: poverty and gender inequality in Ghana	International center for research on women	91	JICA
Honduras ホンジュラス共和国	Profile of the Honduran woman	CIDA	91	JICA
	農村生活改善のための女性の技術向上基礎調査報告書 (ボリヴィア・ホンデュラス)	JICA	92	JICA
India インド	婦国研修員フォローアップチーム報告書 婦人関係行政セミナー	JICA 研修事業部	89	JICA
	Gender and poverty in India	WB	91	JICA
Jordan ヨルダン	Women in Arab society : work patterns and gender relations in Egypt, Jordan and Sudan	Berg	90	JICA
Indonesia インドネシア共和国	The Changing role of women with special emphasis on their economic role: country report of Indonesia	Indonesia, office of minister of status for the role of women	89	JICA
	Indonesian women and development	WB	85	JICA
	Women in development : an update for Indonesia	ADB	91	JICA
	Women in Islam in Indonesia	CIDA	89	ECFA
	企画調整員報告書 インドネシアWID企画調査	JICA 企画部	-	JICA
Kenya ケニア共和国	Danida's plan of action for development assistance to women: country programme Kenya	DANIDA	89	JICA
	Kenya : the role of women in economic development	WB	89	JICA

英語標記については略式標記を使用

国名	書名	出版者	年	所蔵場所
Lao Peoples's Democratic Republic ラオス人民民主主義共和国	Children and women in the Lao People's Democratic Republic	UNICEF	92	JICA
	Country gender analysis for the Lao people's democratic republic	SIDA	92	ECFA
Malaysia マレーシア	Malaysia: national policy for women	Malaysia	90	JICA
	Women in development: Malaysia	ADB	89	JICA
Mauritius モーリシャス共和国	Housing and population census of Mauritius 1983	Mauritius. Ministry of economics planning & development	86	JICA
Mexico メキシコ合衆国	Fertility transition and women's life course in Mexico	UN	93	ECFA
Namibia ナミビア共和国	Country gender analysis Namibia	SIDA	92	ECFA
Nepal ネパール王国	Women in Nepal: some statistical facts	Mauritius. Central bureau of statistics	92	JICA
	婦国研修員フォローアップチーム報告書 婦人関係行政セミナー	JICA 研修事業部	89	JICA
	Children and Women of Nepal A situation Analysis 1992	UNICEF, National Planning Commission	92	ECFA
Pakistan パキスタン・イスラーム共和国	Situation analysis of children and women in Pakistan: Government of Pakistan and UNICEF country Programme of Cooperation 1988-1992	UNICEF	88	JICA ECFA
	Women in development country profile, Pakistan	CIDA	89	JICA
	Women in development, Pakistan	ADB	89	JICA
	Women in development in Pakistan	ADB	89	JICA ECFA
	Women in Pakistan: an economic and social strategy	WB	89	JICA ECFA
	Women's status and fertility in Pakistan; recent evidence	UN	93	JICA
	Pakistan women in development: Government Policy and Foreign Assistance	JICA Pakistan Office	92	JICA
	上記和文	パキスタンJICA事務所		JICA
Papua New Guinea パプア・ニューギニア	Women in development: Papua New Guinea	ADB	87	JICA
Philippines フィリピン共和国	Philippine Development Plan for Women 1989-1992	National Commission on the role of Filipino women	89	JICA
	Situation of children and women in the Philippines	Government of Philippines	87	JICA
	Women in development: Philippines	ADB	88	JICA
Sri Lanka スリランカ民主社会主義共和国	婦国研修員フォローアップチーム報告書 婦人関係行政セミナー	JICA 研修事業部	89	JICA

国名	書名	出版者	年	所載場所
	Situation analysis of children & women in Sri Lanka	UNICEF	87	JICA
	Country gender analysis Sri Lanka	SIDA	92	ECFA
Sudan スーダン共和国	The influence of Islam on Women in development projects in the Sudan	CIDA	89	ECFA
Solomon Islands ソロモン諸島	Women in development: Solomon Islands	ADB	90	JICA
Sudan スーダン共和国	Women in Arab society: work patterns and gender relations in Egypt, Jordan and Sudan	Berg	90	JICA
Republic of the Marshall Islands マーシャル諸島共和国	Women in development: Republic of the Marshall Islands	ADB	91	JIC
Tanzania タンザニア連邦共和国	Danida's plan of action for development assistance to women: country programme	DANIDA	90	JICA
	Policy on women in development in Tanzania	Tanzania, Ministry of Community development, culture youth & sport	92	JICA
	Situation of women in Tanzania	"	88	JICA
	Women and men in Tanzania	Tanzania Bureau of Statistics	92	JICA
	Country gender analysis Tanzania	SIDA	92	ECFA
Thailand タイ	Women in development: Thailand	ADB	86	JICA
Turkey トルコ	Turkey: women in development	WB	93	JICA
Zambia ザンビア共和国	Women and men in Zambia	Zambia Central Statistical Office	91	JICA
	Women development in Zambia: towards a national perspective	Institute of social studies	89	JICA
Zimbabwe ジンバブエ共和国	Women in Zimbabwe	SAPES Trust	89	JICA
Vietnam ベトナム社会主義共和国	Country gender analysis Vietnam	SIDA	92	ECFA
地域別				
アフリカ	Information kit for machineries on the integration of women in development Africa	African Training and Research Center for women	86	JICA
	Statistics and indicator on women in Africa	UN	89	JICA
ラテンアメリカ	Sex education and family planning services for adolescents in Latin America	Pathfinder Fund	85	JICA
	ラテンアメリカの家族構造と機能に関する研究	日本総合研究所	89	JICA